

■中郷小学校区 第1回きずなづくりトークの意見概要と方向性

テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」(※●は市長発言)

7月9日 中郷文化プラザ

発言者	現況・課題	対応策・要望
◆第1部「地域座談会」		
梅名自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○9月第2日曜に防災訓練と運動会を同時開催。 ○自治会から有線放送をし、各組毎で第一次避難場所に集合、移動する。 ○4ブロック4チームに別れ、交互に三角巾、簡易担架の指導を受ける。次に消防団の演習、並行して炊き出し訓練実施。 ○本来梅名の避難場所は中郷小だが運動場が狭いため中郷西中で訓練実施。避難場所に関しては周知徹底している。 ○昨年きずな、ゴミ出しの2つのテーマをスローガンとした。今年度も継投する。会報などにもスローガンを掲示。 ○本部を含めてテント約40張、約1000名の参加。町民の熱心な協力がある。 ◇体育振興会との連携について ○自治会の体育行事は自治会が担当。 ○中郷体育振興会主催の行事に関しては振興会から参加要望がきて、会合の情報を組長に流し参加を募り、体育部が取りまとめなどの窓口になる。当日は振興会と連携をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数年前から中学生も訓練参加。今年度は中学生だけのブルーシートを作り、他と同様に進行して三角巾等の訓練を実施したい。 ○極力マンネリ化しないようプログラムの内容を変えている。 ○AEDは広い場所だと見ている人と操作・説明している人に隔たりがあるので対策を考えたい。 ○訓練内容については市に問い合わせるなどの解決策がある。(ファシリテーター)
八反畑町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○鶴喰と合同訓練実施。八反畑幼稚園と民間の場所2箇所が一次避難地。 ○マンネリでも同じようなことをみんなでやる形が多い。 ○現状、粉消火器は使用不可、また防火水槽は地域に汚水が出るのでホースを使用した訓練はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度は幼稚園への避難訓練の誘導を行う。整然と並んで歩くこと、到着後のチェックなどをしっかり行う。
鶴喰自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数のため八反畑と合同訓練実施。 ○先日市の方から10年改正していない第一次避難所の見直し要請があった。これから行って防災会議で出す予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度は鶴喰から避難地まで10分ほどの距離を移動の仕方などを考えながら歩く訓練を行う。 ○現在避難経路は車通り。危ないので通学路を避難経路としてい

	<p>○当地区はすぐに水が出る。排水のための電動ポンプを市に要請したが不可。</p>	<p>きたい。</p> <p>○防災訓練も大切だが目の前のことも大事。</p>
安久町内会	<p>○防災訓練と体育祭合同で実施。頭は町内会だが運動会は体育部、防災は町内防災組織が運営。</p> <p>○一昨年まで8時に避難訓練開始、避難誘導して徒歩で中郷西中に集合、参加人数を把握。その後体育祭を行い午前の部終了後、防災訓練を行っていた。</p> <p>○昨年度から10時までを防災とした。避難訓練、人数確認、分かれて救護・三角巾・担架作成訓練、消火班は消火器・可搬ポンプによる放水訓練（貯水タンクより実際に放水）を実施。物資班が炊き出し訓練を行い、昼休みに各組に分配。</p> <p>○去年の参加者は全体的に多く600世帯中400何十名かの参加があった。</p> <p>○今までただ単に分かれていたものを、各地域ABCブロックを基本に分かれ、各ブロックが3か所をすべて回る形に変更した。</p> <p>○そのほかの防災の取組として、防災倉庫5箇所を各組月一回点検し可搬ポンプを稼働することになっているが徹底できていない。年一回は町内会の防災担当が各地域の倉庫に行きエンジン点検（稼働しない場合修理）実施。</p>	<p>○今年も同じ形式にして問題点、付け加えるものなどがあれば検討していく。</p> <p>○今年はAEDを加える予定。公民館にAEDを設置する構想もある。</p> <p>○中学生の参加は運動会を含めてこのところ増加傾向。</p> <p>○続ける中で評価や改善点がわかる。</p> <p>○通常のもの、特別なものに分けた上で訓練を行う。</p>
	◇小・中学校の子どもたちの防災訓練参加の取組について	
中郷小学校	<p>○12月の地域防災の頃に各担任から呼びかける。</p> <p>○①避難経路の確認②火災の場合③地震の場合④予告なしの火災・地震に応じた訓練（比較的分散していることを想定）、など年4回防災訓練実施。</p> <p>○地域とのふれあいの場としては交通安全座談会がある。保護者や地域の方に来校してもらい、6年生が地域の様子を調べ発表、意見交換をする。</p>	<p>○緊張感のある訓練を担当中心に考え、基本的に学校職員の誘導、指示によって怪我をしない、命を落とさないことを念頭にしている。</p> <p>○顔見知りになる、接点を持つことが重要。</p>

中郷小学校 P T A	○地域の方々に子どもたちを知ってもらう良い機会なので、それぞれの地区の行事に積極的に参加してもらいたい。	○P T Aとしては地域の方と小学生が触れ合う機会が増えていけばいいと思う。
中郷西中学校	○東日本大震災後、中学生の意識を高めるため防災訓練参加を呼びかけてきた。 ○ただスタンプをもらいに訓練に参加する子ども多い。中学生は三角巾、A E D、担架など色々な形で地域の戦力になる。訓練では具体的に何をするのか、その後どんな働きをするのかまで考えていくことが今後の課題。	○昨年度から校区の7町内会で地域連絡会をたちあげた。各会長と防災だけでなく、生徒や学校の様子などの情報交換も行っている。中学生が防災訓練でどんな動きをするのか町内で考えてくるのが次回までの宿題。 ○他の校区でも小中学生の防災訓練メニューが欲しい、なるべく部活動とかぶらない日を設定して欲しいという意見がある。借り出す道具のことで開催側の調整も必要になる。(ファシリテーター)
	◇地域と子どもの関わりについて	
梅名自治会	○子ども会が10年程前からない。それに代わる形で健全育成会がある。推進委員長、町の自治会役員で構成している。 ○小学生の参加する自治会行事として夏秋2回のお祭りがある。年代を通したふれあいの良い場となっている。 ○保護者が家族と防災訓練に参加し、なおかつ小学生も訓練、運動会に参加。いい関係が築けている。	○小学校にお願いし、放課後梅名の子どもたちに直接案内を配布してもらっている。体育振興会の行事についても同様。 ○小学生を募るには小学校の協力がないと梅名町内ではどうしようもない状況。
八反畑町内会	○町内の人数は少ない。小学生の数は30名、中学生は20名程度。困っていることは特にない。小学生はほぼ全員参加。 ○以前は19時までやったが、午前11時頃から始まり17時には片付け終わることをここ2、3年は進めている。参加しやすい。去年は小学生が消火訓練実施。小学生は親と一緒に参加が多い。	○役員が一年任期だと、どうしても町内を動かすことが重要になってしまう。こちらからだとながしいが、学校から言われると考える。
鶴喰自治会	○学校へのお願いは今の所ない。何かあれば学校との話し合いの場で説明する。	
安久町内会	○先日中学生を学校からどうやって町内へ引き渡すか、小中学校の安久支部長、民	○地域と学校的意思疎通や協力は大事。こういった機会に何が課

	<p>生委員、子どもクラブの方に集まってもらい防災だけではなく犯罪も含めて話し合いをした。</p> <p>○課題が出されたから話が出来た。課題をもらうことも大事。</p>	<p>題なのか、どうやって解決したらいいのか考えていくと今後の取組みが見えてくる。(ファシリテーター)</p>
◆第2部「市長との座談会」		
市長	<p>●災害時は一次避難地で安否確認するが、町内会に入っていない方たちをどうするかが課題。</p>	<p>●自らの命は自ら守る。配布資料「大切な家族の命は守れます！」(広報みしま4月1日号で全戸配布)「災害時の市民行動計画」を町民の方々によく読んでいただきたい。</p>
梅名自治会	<p>○町内会に入っていない人たちは10%位。たとえば会社でアパートを借り上げ、そこに従業員の方がいるが、訪問しても連絡がつかず把握できていない状況。</p>	
安久町内会	<p>○大東建築など一括借り上げのところは、一括で入ってはいるのだが名簿が出てこない。初めて知ったのだが、大変な問題。</p>	
八反畑町内会	<p>○270世帯あるが、268軒703名把握している。とにかく名前だけは書いてもらった。その中で一人住まいなどと照らし合わせている。</p>	<p>○防災訓練の時、役員はどうするのかという状況。</p>
鶴喰自治会	<p>○町内ほとんど入っている。防災名簿は民生委員との関係があるが、去年名簿を各家庭ほぼ出してもらっている。</p>	
市長	<p>●避難所は中郷小体育館(安久は西中体育館)だが、家が使用出来ない人たちが暮らす場所。</p> <p>●9月1日は予知が出来る事を前提にした訓練。警戒宣言→一次避難地集合→地震、その後避難が必要な人は避難所生活をするという訓練。12月はじめの日曜日は地域防災の日、突発的地震の訓練。安久は盛大な訓練をしている。</p> <p>●中学生は部活のためシーズン中の9月はじめの訓練は出にくい。12月はじめはシーズンオフなので比較的出やすい。</p> <p>●要援護者名簿を各町内取りに来てほし</p>	<p>●家の耐震補強をしっかりとしておくことが大切。</p> <p>●自主防災会議で中学生の地域防災訓練の参加証明書様式を配布しているので検討してほしい。</p> <p>●名簿と一緒に渡した笛を訓練の</p>

	<p>い、そのとき一緒に笛を渡している。</p> <p>●6月17日に災害対策基本法が改正され、災害弱者の名簿を市が作成する。災害時には個人情報保護の枠を外して名簿をもとに救出救助活動を行えることになった。</p> <p>●黄色い旗、布をもし家族が無事ならば玄関や表に掲げる。参加できない場合も掲げて参加意思を表してもらい、自主防災会の人は迅速な安否確認が出来る。</p>	<p>時に実際に吹き、こんな音がすると皆に知らせて欲しい。</p> <p>●訓練の中に黄色い布を取り入れてほしい。</p>
三島市子ども会連合会	<p>○梅名も八反畑も鶴喰も安久も子ども会がない状況。けれど三恵台子ども会の大西君の様に、子供たち自身に防災について考えさせることはできる。小学校で道徳などの時間を使うのも有効だと思う。</p> <p>○御殿場では一年生は入学時に全員子ども会に入らせる。すごくいい考えだと思う。その後どうやって地域で子供たちをフォローするかについてまではわからない。</p> <p>○三島全体で子ども会が少なくなっている。ドッジボールで優勝したチームが子ども会に入っていないために県大会に進めないこともあった。</p> <p>●実際には小学生 6,000 人位なのだが子ども会に入っているのは 3,000 人いない。きずなが弱まっている。親の都合や役員が嫌だとか、そんな理由でどんどん子ども会がなくなっている。</p>	<p>○小学校に入ったら子ども会、保険等に全員を入れてしまう。そうすれば親が役員でなくても子ども会の一員なので大会には出られる。これから子ども会はそんな形でもできるということ伝えてい。</p> <p>●特に南部方面は子ども会が少ない。徳倉小校区は全て子ども会がある。北小はPTAの規約でPTAの育成部長が子ども会の地区長になっている。そんなことをPTAの役員さんにもアピールしてほしい。</p> <p>●それぞれの町内で子ども会ができることを願っている。</p>
女性懇話会	<p>○自分の子が小学生の頃は子ども会に入っていた。高学年が下級生の面倒を見るなど上下関係を学び、町内の方、年配の方たちにもかわいがられた。子供は楽しみ親も勉強できた。それが今はなくて残念。親も大変なことはわかるが復活してくれるといい。</p> <p>○梅名は、訓練は中郷西中集合だが実際は中郷小が避難所。中郷小への集合場所や避難経路をわかっていないと混乱する。</p>	<p>●今回避難経路を見直していこうということで、これから作業が始まる。</p>

梅名自治会	<p>○5月にジュニア防災士の会場として中郷文化プラザを使用。10人ほどの子どもたちが梅名の防災倉庫の定期点検作業やローソクを使っての飯盒炊飯等を体験。とても楽しそうだった。</p> <p>○子どもの防災への関わりは非常に大切。</p>	<p>○名前だけの自主防災OB会名簿を見直し、一度集合して防災意識の向上を図りたい。</p> <p>○本来は民生委員と協力し誰が一番先にどこへ行くかまで考えるべき。</p>
スポーツ推進委員	<p>○体育振興会と市から委嘱されているスポーツ推進員、それぞれ合同で行事実施。</p> <p>○体育振興会行事として先日運動会を行ったが子ども達の参加が多数あった。</p> <p>○梅名では小学校入学時に保険の関係もあり全員登録する。</p> <p>○町内行事に参加する子供は少ない。お祭りだと200人中50~60人程の参加者数。</p> <p>○スポーツ推進員が行う地区のトリム教室も人数が集まらず苦勞している。</p>	<p>○小学生の保護者に地道に話をし、少しずつ参加を促していく。</p>
スポーツ推進委員	<p>○安久は4年前に子ども会が消滅したが、なんとか子どもクラブを立ち上げた。現在10人ほどのメンバー。</p> <p>○以前は会費を取ってやっていたが、結局運動会など子ども会の負担が多すぎてしまった経緯がある。</p> <p>○今回の中郷体育祭は、子どもクラブは関係ない、スポーツは体育部ということで実施したところ子供たちが多数参加してくれた。</p>	<p>○夏休みに行事を企画。土日は少年団の活動等があり平日に実施するが、大人が参加しにくい。今回町内会長、民生委員、PTA含めて育成会の中で体制を作っていた。</p> <p>○地域の各組の方が動いてくれれば次第に活動も広がる。</p> <p>●その動いてくれる方が多くなるようにきずなづくりトークがある。皆さんに頑張ってもらいたい。</p>
体育振興会	<p>○普段は校区祭、ドッジボール大会開催など実施。集団行動が防災、きずなづくりにつながる。</p> <p>○会をなくすのは簡単だが、立ち上げるのは大変。</p>	<p>○また子ども会を立ち上げるいい方法があれば、定着するよう補助金や予算をつけてほしい。</p> <p>●それぞれの町内で真剣に話しあって欲しい。</p>
市長	<p>●運動会は健康づくりのほか、きずなづくりの面がある。大災害時助け合う町内にするため、防災と大いに関係がある。</p> <p>●教育も学校と家庭と地域の連携を重視。</p> <p>●今年三島市は教育委員会の中の生涯学習課に指導主事を1人つけて、学校支援地</p>	<p>●地域の方に学校支援をして欲しいし、学校でも逆に地域とよく話し合い、子どもは学校と家庭</p>

	域本部を実施。	と地域で育んでいく。
中郷小学校	○小学生の場合子どもから親を誘うことが親を動かす。回覧などでは親の都合で情報を遮断する場合がある。	○地域への協力についてはチラシなどをまず子どもに見せ、興味を引き、子どもから親を誘わせることも有効な手段。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ●北小学校が防災の研究指定校になった。 ●PTA主催で自らの命は自ら守る、自分たちの地域は自分たちで守るという観点で防災学習に取り組んだ。各町内会長、自主防災会長、それぞれの町内の保護者も（授業参観で）参加し、町内別に別れて親子と会長が話し合った。保護者も防災訓練に参加する重要さを理解できた素晴らしい防災教育だった。 ●一昨年から毎年岩手県山田町に職員1名を派遣している。 ●山田町では800人あまりが津波で亡くなったが、津波から助かった人は普段から防災訓練に参加している人だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ぜひ機会があればPTA主催で北小の真似をしてもらいたい。研究してみしてほしい。 ●マンネリ化でも基礎基本をやっておく防災訓練が大事。訓練は意義があることをぜひ皆さんに知っていただきたい。 ●今日は結論を出す会ではなく、それぞれの地域に持ち帰って話し合いを深めて欲しい。